

平成29年7月12日

輸送動向について（平成29年度第1－四半期）

1. 輸送概況

4月上旬に発生した東北地区での強風、6月下旬に発生した広島地区での大雨等の影響により、高速貨102本が運休となった（前年同期は、高速貨222本が運休）。

コンテナでは、引続き新車販売台数が堅調なことから、自動車部品が好調に推移したほか、積合せ貨物もトラックドライバー不足を背景に、鉄道へのシフトが進み順調な発送となった。また、食料工業品では関西地区から北陸地区へのビール輸送、新潟地区から関西地区への菓子輸送が増送となり、化学薬品、化学工業品も堅調な発送となった。

一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要減少に加え、一部工場の定期修繕の時期変更等も影響し、大幅な減送となった。コンテナ全体では前年比103.6%となった。

車扱は、石油が配送圏見直しにより鉄道へのシフトが進んだことから、好調な発送となり、車扱全体では前年比102.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比103.4%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,431	5,239	103.6%
車扱	1,917	1,869	102.6%
合計	7,348	7,109	103.4%

3. 品目別輸送実績

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	361	358	3	100.9%
	化学工業品	523	514	8	101.6%
	化学薬品	361	344	17	104.9%
	食料工業品	977	948	29	103.1%
	紙・パルプ	736	767	-31	96.0%
	他工業品	396	360	37	110.2%
	積合せ貨物	696	662	34	105.2%
	自動車部品	211	161	50	131.2%
	家電・情報機器	109	106	2	102.1%
	エコ関連物資	113	113	0	100.1%
	その他	947	906	41	104.5%
	コンテナ計	5,431	5,239	191	103.6%
車扱	石油	1,263	1,210	54	104.4%
	セメント・石灰石	292	305	-13	95.6%
	車両	210	193	17	108.7%
	その他	152	161	-9	94.4%
	車扱計	1,917	1,869	48	102.6%
合計	7,348	7,109	239	103.4%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）